

学校給食費の軽減について

一般質問



織部 徹 議員
(21政会)

給食費の軽減を進めます。

問 給食費を下げるためにメニューが悪くなるようでは困る。そこで、現在、市が負担している光熱費(電気水道代)に、ガス代までを含めることで、保護者負担分を軽減するというのはどうか。

答 ガス料金を市が負担するかについては、市の方針並びに財政計画との関連もあり、今後の検討課題であると考えています。

問 給食費は保護者の月々の支払いに本当に重くのしかかってくる。とりわけ3人程度の子供がいる世帯では負担が大きく、できるだけ安くなるよう考えていただきたい。また、相生市では給食が無料化され、他市への人口流出が止まり、住みやすい市として人が入ってきているという話も聞いている。市として、無料化に向けてどのように考えているか。

問 本年度から中学校でも給食が実施されたが、現在ひと月の給食費は、北播他市町より高く、小学校4,100円、中学校4,400円となっている。そのため、加西市は給食代が高いというイメージである。

子育て支援の観点から、他市町よりぐっと安くすることはできないか。

答 他市町と比較して、加西市の給食費が少し高めとなっているのは、メニューが一品多いためです。給食費には食材費・調味料・ガス料金が含まれ、それ以外の人件費・管理費用・上下水道料金・電気料金は市が負担しています。今後、ガス料金の交渉や、食材の入札による一括購入など、

答 相生市では給食費無料化事業をはじめ、さまざまな子育て応援施策が実施されており、その効果等を総合的に検証していきたいと考えています。また、保護者の負担軽減を図る子育て応援施策として、一歩進んだ無料化は今後の検討課題の一つです。

ただ、学校給食については、平成26年1月から全ての小・中・特別支援学校において完全実施を実現したところでもあり、開始から間もない現時点で性急に検討するのではなく、まず子供たちや保護者の方に評価していただける学校給食を目指した上で、総合的な観点から検討を進めてまいりたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・教育施設の整備について
- ・小中学校の介助員の配置について
- ・歩道等の整備について

播磨国風土記1300年祭について

一般質問



中右 憲利 議員
(21政会)

問 5月4日の上演は全て無料で見られるのか。

答 雨天の場合は市民会館での上演となりますので、1,000席程度の座席については有料とし、チケット販売を行う予定です。価格は地域づくりということに配慮していただいて、低価格に設定する予定です。また、無料観覧スペースの設置等についても検討を行っているところです。

問 風土記サミットを加西市で行うという計画があったと思うがどうなったのか。

答 平成27年度には兵庫県において、島根県の出雲国風土記、茨城県常陸国風土記等現存する風土記5カ国サミットの開催が検討されていますので、加西市での開催を県に働きかけているところです。

問 この1300年祭で創ってきた文化、人とのご縁を今後どう生かしていくのか。

答 「こども狂言塾」は来年度も継続実施し、狂言を加西の新たな伝統文化として郷土に根づかせ、次世代に継承していきたいと考えています。また、狂言師の野村萬斎さん、笛方の藤田六郎兵衛さん、イラストレーターの永田萌さん、漫画家のななじ眺さん等との貴重なつながりを生かし、引き続き事業等を通じて関係を継続していきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・市内基幹道路の整備及び水害対策について
- ・人口増政策について
- ・ふるさと創造会議について

問 本番のイベントはどのようなになるのか。

答 5月4日は哲学者梅原猛氏書き下ろしの播磨国風土記を題材とした創作能の上演及び野村萬斎氏監修による狂言根日女を、萬斎氏自身と「こども狂言塾」の塾生との共演で上演する予定です。

5月5日はこどもの日ということで、子供から大人まで幅広い世代に播磨国風土記の記念イヤーを肌で感じてもらい、また、播磨地域全体の交流促進が図られるような多彩な事業を企画していきたいと思っています。